



## 『中村 哲さんのこと』

ちいろば会理事 木ノ脇 悦郎

昨年、2019年12月の始め、突然とても悲しく腸(はらわた)をえぐられるようなやりきれない事件が  
 起こり、そのニュースが何日もテレビや新聞で報じられていました。九州大学出身の医師、中村哲さん  
 が工事中の灌漑水路現場に向かう途上で射殺されたという悲しい報告でした。中村さんは、医師と  
 して長年アフガニスタンで医療活動をしていました。最初の20年間は、主にハンセン病の治療に当  
 たっていたのですが、2000年に大きな転機が訪れました。その年にひどい干ばつが国中を襲い、  
 感染症が広がり、多くの人たち特に小さい子供たちの死を体験するという悲しい出来事が起こったの  
 です。

中村さんは、その時「十分な食料と清潔な水があれば、病気のほとんどは防げた」ということに気付  
 いたと言います。それからは、清潔な飲み水を得るために井戸を掘ること、また野菜などの農作物を作  
 るための灌漑用の井戸だけでなく、大掛かりな水路によって砂漠のようになってしまった土地を農地に  
 変えられるような工事を自分で始めました。中村さんは、医者であるにもかかわらず、ブルドーザーを  
 自分で動かす勉強をし、土木工事にも詳しくなったのです。それには「百の診療所より一本の用水路  
 を」という中村さんの願いが込められていたのです。こうしてその水路のおかげでアフガニスタンには  
 広大な農地が作られ、多くの人々が働く場所を得ることになったのです。その内容は、200万人の人た  
 ちに働く場所を与えることになったということですが、それはなんと人口の15パーセントにもなるとい  
 うのです。これは大変な業績です。アフガニスタンの政府も多くの国民も中村さんを自分たちの仲間とし  
 て接するようになりました。こんなに愛され、尊敬された中村さんがどうして殺されなければならなかつ  
 たのでしょうか。

多くの人たちが、いまだに仕事に就くことができず、過激なグループに誘われ、戦うことによって生活  
 の糧を得ている状態が続いているのです。中村さんは、このような状態をなくし、皆が仕事を得て、食料  
 を十分に生産して、幸せに暮らせるようにと水路を作り、農地を蘇らせたのになんという皮肉でしょ  
 う。その人々の助けになりたいと願っていた人々から銃を向けられ、殺されてしまったのです。中村さん  
 は、その人々を恨んではいないと思います。自分を殺してしまった人々を、むしろ気の毒に思ってい  
 ることでしょう。

私たちは、中村さんの悲劇を、そしてアフガニスタンの悲劇を世界の平和の問題として考 えなければ  
 なりません。武器や力によってではなく、知恵と愛情によって平和に尽くした中村さんはクリスチャンで  
 したから、「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」  
 (ヨハネ福音書12:24)という聖書の言葉を大切に、その言葉を生きたのだと思います。

かんが  
ワークライフバランスを 考 えるかいじ む ちよう わ だ やすこ  
ちいろば会事務長 和田 泰子

2020年新しい年が始まりました。今年は年末にやり残した事務作業をしながらの年越しとなりましたが、手を止めてふと頭に浮かんだことは、これまでちいろばだよりを通して働き方改革による法改正について何度も書く機会はありませんでしたが、私自身の働き方、ワークライフバランスについて考える時間があまり無かったように思いこれまでの生活を振り返りながら少し考えてみることにしました。

まず、ワークライフバランスという言葉を知らない人はいないだろうというくらい浸透している今日ですが、定義や考え方は曖昧だという人も多いかもしれません。では、あなたが考えるワークライフバランスの意味は何ですか？

この質問に対して多くの人は「仕事とプライベートを分けて考えること」や、もしかしたら「仕事よりプライベートの時間(家庭)を大切にすること」と考えている人がいるかもしれません。

ワークライフバランスの本当の意味は『仕事と生活の調和』であって、仕事とプライベートを天秤にかけるものではありません。仕事やプライベートのどちらかだけに偏るのではなく、仕事以外の生活(育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動等)の充実にも目を向けることが重要で、そうすることで気持ちに余裕が生まれて仕事の生産性を上げることにつながるのだと意味付けされています。要するに、仕事の成果を上げる為には私生活とのバランスを取ることが重要になってくるのです。

では、これらのことを踏まえて私自身のワークライフバランスが確立しているのかと自問自答してみると決して確立しているとは言えず、仕事も育児も全く気持ちに余裕が持てないまま過ごしてきました。また、仕事と育児を両立させることにより周りに迷惑をかけているので、罪悪感や葛藤する気持ちが生まれてどちらも楽しいと感じることができなくなっていました。私は子どもが成長していけば少しずつ出産前のスタンスで働くことができるのではないかと自分勝手に考えていたのです。でも実際は成長するにつれ親として関わる時間は増えていくばかりで、時間と気持ちの余裕の無さは出産後から変わらないことを痛感しています。

そのような気持ちの中、年末年始休暇が9連休もありました。恥ずかしながら出産後初めてと言えるくらい長い時間を子どもと向き合いました。子どもは休みが続くことは理解していますが、終わりが見えないので毎日「ママ明日は仕事？仕事やったら保育園行くの？」と聞いてくるのです。私は「あと～回お休みしたら保育園始まるよ」と答えるのですが、その会話の中で自分の保育園の始まりを親の仕事の有無で判断している子どもの姿を見て「成長を感じられることは嬉しい反面、この子なりに我慢している部分もあるのだろうな。でも子育てに正解なんてない各家庭によって違って当たり前だし。」と思いながらも、やはり親としては子どもの前ではできる限り笑っていたいので自身のワークライフバランスを確立するために小さな目標を一つ決めようと考えたのです。達成感を実感できるように大きな目標ではなく小さな目標で、仕事と生活のどちらかに偏ることのない目標をです。

これまでの気持ちを変化させることは容易ではないかもしれませんが、目標達成に向かうことで少しずつ変わることができれば楽しいと感じられることもあると思います。そして仕事でも仕事以外でも私は私であって誰も身代わりになれないからこそ、必要とされる間は、と言うよりも必要とされる存在であり続けたいと思う気持ちも大事にしていきたいです。

# しゃしん とも しょうかい 写真で友だち紹介

このページでは、利用者の皆さんに、お友だちをひとり選んで写真を撮って紹介してもらいます。  
紹介をされた人には、次号であらたなお友だちを紹介してもらうという数珠つなぎのコーナーです。

やまだたすく  
山田 援さんから  
さくらだしんいち  
櫻田 眞一さんを  
しょうかい  
紹介します



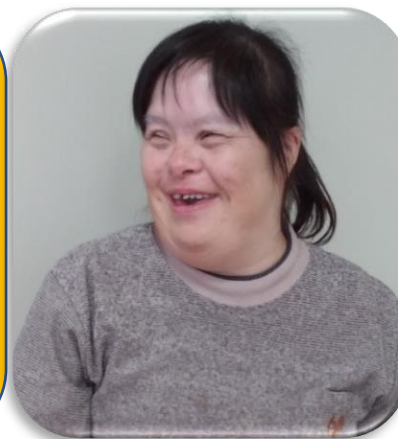
てくらだ  
櫻田さんは、2018年7月からちいろば園に来た  
けいさぞう かいぶもん いっしょ さぞう  
軽作業1階部門で一緒に作業しています。  
はな おす した ふくうい  
華あられの敷かぞえで下じきの袋入れ  
ていあい  
とても丁寧にしています。  
くりすます れいはい けた  
クリスマス ねい拜では歌が  
じょうず  
とても上手です。 名前 山田 援



たかみりょうへい  
高見 良平さんから  
ふじわら さ ゆり  
藤原 小百合さんを  
しょうかい  
紹介します



ふじわら おな きぎょうはん  
ぼくと藤原さんは同じ作業班です。  
ふじわら み えがお  
藤原さんはぼくを見つけると、笑顔で「たかみちやー  
ん」と言ってそばに来て、頭やおでこ・ほっぺなど  
かおゆう  
顔中をいっぱいなでてくれます。  
あんまりやられると困るけど、ぼくのそばに来る時  
は、いつもとても優しい顔をしています。



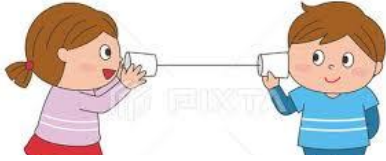
おおはしけん し ろう  
大橋 賢志朗さんから  
にしむらかなり  
西村 周也さんを  
しょうかい  
紹介します



にしむら ひ の で そう  
西村さんとは、グループホームの日の出荘が  
やく ねんまえ とき いっしょ せいかつ  
約3年前にできた時から一緒に生活しています。  
いっしょ  
よくリビングで一緒にテレビをみます。ぼくがテレビをみ  
て笑っていると、西村さんも一緒に笑ってくれます。ぼく  
が怒られているときもやっぱりニヤツと笑っています。  
にしむら しゃしん えん きぎょうしつ  
西村さんの写真は、ぼくがちいろば園の作業室で  
と撮りました。



「知る」ということ、「伝える」ということ



ちいろば園職員 佐竹佳子

この春から仕事をはじめた新米支援員のわたしがつきあたった大きな壁は、「伝える」という、日常ごく  
あたり前にしているコミュニケーションでした。

「伝える」…伝わっていると勘違いしてしまうことの、なんて多いことか！

食品製菓部門は作業内容も幅広く、きちんと伝えなくては危険なこともいっぱいです。なのに…「作業

内容が、Tさんにきちんと伝わってないよ！」と、注意されてふりむくと、お願いした作業とはちがう方向に

進んでいくTさんの姿が！（言葉で伝えて、返事をもらったつもりになっていても、伝わってはいないんだ  
…）

そこで、先輩であるEさんはTさんにきちんとむきなおると、「顔を見ながら」「笑顔で」「ジェスチャーを

交え」作業内容を伝えます。Tさんも笑顔でサムズアップ！

一日の限られた時間内で、グループホームの夕食づくりと喫茶部門で使用するお菓子作りという多忙な

中、てきぱきと支援して作業内容を伝えていくEさんの動きをよくみると、様々な工夫がされていること

に気が付きます。

たとえば「計量」というひとつの作業をとっても、言葉で読み取る力が達者なNさんには、レシピのコピーを

横に置いてもらい自分で材料と量を読み取って作業してもらいます。ですが、複数の情報があることが作業

のつまづきになりがちなSさんには、ホワイトボードに計量してほしい量だけを書いてシンプルにわかりやすく

伝えていきます。

わかりやすさ、伝える力。これもすべて、利用者さんひとりひとりをよく「知って」いるからできること。

まず、利用者さんを「知る」こと。これが、スタート地点に立つわたしの、一番の目標です。



今回は、各グループホームでおこなわれた避難訓練の様子を報告します。

グループホーム職員 辰己 浩規

## 日の出荘

立地：山手の住宅地。土砂災害の危険あり。  
設定：地震 震度5～6弱（利用者へは事前周知した上で実行）



勢野北自治会館に避難しました。避難時間は4分でした。  
グループホームを出るのに少し時間がかかってしまいました。スムーズに移動できるよう日頃から意識して取り組みたいと感じました。

## にぬふあ星

立地：大和側付近。水災害の危険あり。  
設定：地震 震度5～6弱（利用者へは事前周知した上で実行）

避難所まで約10分で移動する事ができました。（少し離れた所にあります。）普段ゆっくりなペースの方もスムーズに移動する事ができ、訓練を重ねてきた結果だと思えます。



## エンゼルハウス

立地：山手の住宅地。土砂災害の危険あり。



10月27日、城山台総合防災訓練に参加しました。震度6の地震の設定で「城山台自治会館」へ避難しました。ラップや新聞紙等を利用して足を骨折した場合の応急措置や放水体験、消火器の取扱い等の講習もありとても役立つ内容でした。また、参加する事で自治会の人たちにエンゼルハウスの存在を知ってもらえる機会になりました。



わたし めざ みち  
「私が目指す道」

えんしよくいん いそみち かおり  
ちいろば園職員 磯道 香織

わたし えん にゆうしよく とくしょうがくにねんせい むすめ ことしせいじんしき むか はたち だいがく ほう  
私がちいろば園に入職した時小学二年生だった娘も今年成人式を迎え二十歳になりました。大学と某フ  
ーストフード店とのバイトで毎日忙しそうです。そんな娘のバイト先には毎日たくさんのお客様が来るそう  
す。ヘルパーさんとその利用者さんの来店も多いようです。

そんな中、娘はレジ・接客係を担当していると「違和感」を感じたそうです。ある日、レジ・接客係をしてい  
ると、注文から支払いまでをすべてヘルパーさんが行っていたそうで、とても悩んだと言いました。「おつりは  
だれ わた 誰に渡したらいいの？」と、、、。(支払ったのはヘルパーさんだけど、きっと彼のお金だろうな、、、どうしたらいい  
いんだろう、、、)悩んだ末お金を触っていたヘルパーさんにおつりを渡したら、「それ僕の！！」と利用者の方  
に指摘を受け、すぐに「大変申し訳ございません」と謝罪し彼におつりを渡したそうです。

かん いわかん 感じていた「違和感」はここではっきりしたそうです。(なんで本人さんって、何もさせてもらえないの？全部やっ  
てあげることがお母さん達の仕事なの？と、、、)

わたし むすめ ことば 私は娘の言葉にドキッとしました。私も数年前の今よりももっと未熟な時に利用者さんと外出した際、ファ  
ーストフード店を利用したことがありました。その時私が優先したのは利用者さんではなく周りの目だったから  
です。(後ろに列が出来てしまった、、、あつ、レジの人イライラしてる、、、早く済ませないと、、、)と。その場を  
はや お 早く終わらせることだけを考え、利用者さんに対して支援なんて呼べる行為もできず、結果利用者さんの行  
えることさえも奪っていたのです。

わたし しごと りようしや こま 私の仕事は利用者さんが困っていることをどうしたら改善できるだろうか。と考えるべきなのに、そこから目  
をそらし、その場が見ただけスムーズに済むことを優先して動いていることが未だにあり、それは「本人の代  
わりにやってあげる」行為となり、無意識のうちに上から目線で利用者さんに接することに繋がっているのでは  
ないかと思います。そうではなく、「どこで困ってるのだろう」「どうしたら、どんな支援ツールがあったらできるだ  
ろう」と常に自分に問いかけ、利用者さんが主役になるには何が必要なのかを考えられる支援者になれるよ  
うに歩んでいきたいと思っています。



なが あいだ  
永い間、ありがとうございます！！

かいりじ とみた ただかず  
ちいろば会理事 富田 忠一

ちいろば園が設立して、今年で30年、ちいろば園の今日までのあゆみは、多くのみなさんの善意によって支えて頂いています。

「ちいろば献金」にご協力くださった多くのみなさん、日々の活動にボランティアで協力くださった方々、行事を盛り上げて下さるボランティアのみなさん。

多くのみなさんの、善意に支えられ30年もの間、活動を継続してこれたことに感謝しています。

30周年を記念して、今年、永年、様々な形でちいろば会の活動を支えて下さった4つの団体、個人の方々に感謝状を贈呈させていただきました。

ちいろば園開設の年から、毎年2回、利用者のみなさんの歯の健康を守るために、ボランティアで歯科検診を続けてくださっている平群町の「医療法人清澄会 オオタ歯科医院」。

太田啓介先生が太田章一先生を引き継いで下さり、二代に渡ってお世話になっています。



おおたしょういちせんせい  
太田章一先生



おおたけいすけせんせい  
太田啓介先生



毎年秋に開催するちいろばまつりで、プロ顔負けの本格的な人形劇を披露してくださる「劇団 あおむし」のみなさん。



同じく、ちいろばまつりで、焼きそばやかき氷を手際よく作って格安で販売してくださるボランティアのみなさん。



クリスマス前には、贅沢なバロック音楽を奏でくださるチェンパロ奏者の河野まり子さん。



みなさん、永い間、本当にありがとうございます。そして、これからもよろしくお願ひします！！

河野まり子さん



☆後援会費・ちいろばだより年間購読料 (2019 年 10 月 1 日～2019 年 11 月 30 日)

濱野由利子、特定非営利活動法人ななつぼし、福田容子、藤井博次、篠原範子、矢野雄大、  
高見敏雄、清水浩、大西真規子

以上 敬称は略させていただきます

☆お詫びと訂正

前号ちいろばだより 231 号において、以下の誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

誤

正

3 頁 吉岡佳奈さん → 吉岡佳菜さん

8 頁 植松 悟容疑者 → 植松 聖容疑者

※ 「やまゆり園事件はなぜ起きたのか」の集会案内に開催時間の掲載がありませんでした。

あたらしい年、2020 年もよろしくお願いします。



## KSKS ちいろばだより

編集人／ ちいろば会後援会

年 6 回 頒価 50 円

連絡先／ 奈良県生駒郡三郷町勢野北 5-6-14

TEL : 0745-72-1923 FAX : 0745-31-5760

発行人／ 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4F